

# かけはし

氷見

KAKEHASHI HIMI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

TOPICS ● 話題

## 平成26年度病院新体制 新入職員入職式



KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

あいやまガーデン

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	平成26年度病院新体制	P.01
	第61回富山新聞文化賞受賞	P.02
	平成26年度新入職員入職式	P.03
	新入職者紹介	P.04
	浦島先生の診察室から	P.05
	平成26年度健康づくり教室	P.06
	診療コラム	P.07
	病院★ニュース	P.08
	まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

# 平成26年度病院新体制

最高経営責任者(CEO)  
高島 茂樹



病院長  
齋藤 人志



## 齋藤新病院長からのご挨拶

**私** は、このたび高島茂樹病院長の任期満了により、

4月1日から金沢医科大学氷見市民病院の病院長に就任いたしました。微力ではありますが、地域の皆さまに安心、安全、信頼を基本とした質の高い医療の提供に心がけ、地域中核病院としてさらに発展していきたい。努力したいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

当院は、平成20年4月から病院事業指定管理者として、病院の管理運営を担当し、平成26年4月から7年目に入りました。これまで地域の皆さま方に支えられながら、平成23年9月には現在の新病院が完成・稼働いた

しましたが、以来、順調に地域中核病院としての診療体制が充実整備されてきております。この6年間を振り返りますと、医師数もスタート当初の28名から

現在では48名と増加しており、診療実績も増加しております。特に地域医療に直結する救急医療につきましては、氷見市の救急搬送患者の約9割が当院へ搬送されている状況です。

私は、平成20年4月に金沢医科大学病院から副院長、一般消化器外科科長・教授として金沢医科大学氷見市民病院に着任し、これまで高島茂樹前病院長とともに多くの胃がん手術や大腸がん手術等の消化器系のがん手術や胆石の内視鏡治療、一般外科治療を行ってまいりまし

た。今後は、診療に加えて病院経営という重責を担うこととなりますが、病院の安定経営と地域の医療・福祉機関との積極的な連携などを推進しながら、患者さんが当院の診療を受けて良かったと思える病院づくりに取り組むたいと考えております。今後とも、皆さま方のご支援ご協力をお願いいたします。

# 副院長・院長補佐のご紹介

副院長

坂本 滋  
胸部心臓血管外科教授



副院長

小平 俊行  
事務部長



副院長

小島ひとみ  
看護部長



院長補佐

神田 享勉  
総合診療科教授



院長補佐

松本 伸夫  
健康管理センター長・教授



院長補佐

池淵 公博  
整形外科准教授



## 高島茂樹最高経営責任者

### 第61回 富山新聞文化賞受賞

（消化器がんの治療成績の向上と  
地域医療体制の充実に向けた努力を評価）

平成26年3月11日（火）A N Aクラウンプラザホテルにおいて、最高経営責任者高島茂樹先生が「第61回富山新聞文化賞」を受賞され、贈呈式が行われました。この賞は富山新聞社が毎年、文化・芸能・スポーツの各分野で輝かしい業績をあげられた個人や団体を顕彰しています。

高島茂樹先生の消化器がん治療のプロとしてのこれまでのがんの外科的治療成績の向上に向けての努力と、平成20年から公設民営化による金沢医科大学氷見市民病院の刷新に向けた努力が評価され受賞さ



れました。先生は初代病院長として就任されてから、患者中心の医療の実現に努め病院の診療体制としては、予防医学・治療医学・回復期医療の3本を柱に切れ目のない医療体制の構築に向け努力されてきました。予防医学としては健康管理センターを設置し、近年社会問題になっているがんや生活習慣病の早期発見・早期治療に繋げ、また人間ドックの充実を図るだけでなく地域振興を考慮し「氷見民宿」泊ドック」を考案開始されています。治療医学については、大学の附属病院としての機能を活かした専門診療科による高度先進的医療の提供を行っています。回復期医療として、氷見市の高齢化率をみすえ回復期リハビリテーション病棟を設置し、全国的にも特筆すべき1日9単位（3時間）のリハビリを早期から行うことで効果的な機能回復に繋がっています。また、夏休み親子ふれあい医療フェステ

バルや健康づくり教室、北陸がんプロの市民講座など病院が主催する各種イベントを通して地域住民の医療に対する関心を高め医療知識のレベルアップを図るよう努めています。このように病院内だけでなく、病院外でも積極的に活動することによって病院全体として、全職員が地域の中核病院としての役割を果たすことの重要性を強調されています。また、専門の消化器がんについては治療成績の向上に向け、外科医として今なお執刀され、地域の患者さんの救命に努力されています。高島先生は昨年6月から氷見市民病院の最高経営責任者に就任され、医療と経営のトップとして病院経営にも従事されています。



# 金沢医科大学氷見市民病院

## 平成26年度

## 新入職員入職式

平成26年4月1日(火)午後1時30分から、病院6階多目的ホールにおいて、本年4月1日付で採用された新入職員入職式が開催されました。

今年度は、医師8名、初期臨床研修医1名、看護師14名、理学療法士8名、作業療法士1名、臨床検査技師2名、事務員(嘱託)2名、看護補助員1名の37名が入職しました。

入職式では、本川祐治郎氷見市長に代わり棚瀬佳明副市長が来賓として出席され、高島茂樹最高経営責任者並びに齋藤人志病院長をはじめ多数の病院幹部職員が列席しました。

式では、新入職員一人ひとりの氏名が読み上げられた後、高島最高経営責任者から、新入職員を代表して看護師谷口見束さんに採用辞令が交付され、期待と励ましの言葉がありました。齋藤病院長から、新たに仲間となった新入職員に対する歓迎と激励を込めた訓辞が述べられ、新入職員を代表して理学療法士中西啓祐さんが「金沢医科大学氷見市民病院の一員として、自己研鑽に努め、職務に精励することを誓います。」と力強く宣誓を行い、入職

式を終えました。

入職式に引き続き、新人オリエンテーションが行われ、最初に高島最高経営責任者から「病院の概要と運営について」、その後、小平俊行病院事務部長による「学校法人金沢医科大学の概要及び病院職員としての心構えについて」の講演が行われました。

2日目以降のオリエンテーションでは、医療安全及び感染防止の知識、職業人としての健康管理、病院手引書に基づいた各診療部等病院組織の紹介・説明など、金沢医科大学氷見市民病院の職員として必要な事項についてそれぞれ説明がなされました。

また、心肺停止状態の人に対して行う救命処置BLS(Basic Life Support)研修、外部講師による患者さんに対する接遇の基本的な態度の研修等病院職員として身に着けるべき幅広い研修が行われました。これら新人オリエンテーションは5日間にわたって行われた後、それぞれの部門に配属されました。



平成26年度

### 新人オリエンテーション

#### 4月1日(火)

- ① 採用手続き関係
- ② 入職式(辞令交付及び齋藤病院長訓示)
- ③ 病院の概要と運営について(高島CEO)
- ④ 学校方針金沢医科大学の概要と病院職員としての心構えについて(小平事務部長)

#### 4月2日(水)

- ① 医療安全の基礎知識について(加納医療安全管理者)
- ② 感染防止の基礎知識について(谷畑感染管理認定看護師)
- ③ 病院設備と防災・防犯設備について(上端事務副部長兼総務課長)
- ④ 病院の手引書、病院機能評価について(亀井事務副部長兼病院企画課長)

#### 4月3日(木)

- ① 各部門紹介(7部門 部長・技師長)

#### 4月4日(金)

- ① BLS研修(ACLS委員会)
- ② 接遇研修(外部講師)



オリエンテーション



新着任医師 9名 (大学からの異動3名)

新教授着任



一般・消化器外科

教授 村上 望

◎専門分野：  
上部消化管外科・緩和ケア

先生から一言

消化器外科の治療として主に上部消化管、中でも胃外科を中心に行ってきました。特に患者さんへの優しい治療法、低侵襲外科治療として腹腔鏡手術を行っています。また、癌の早期診断から在宅療養までも念頭においた緩和ケアについても活動しています。

- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本緩和医療学会専門医

新入職者  
紹介



今年度、37名が新たに入職（異動）しました。気持ちも新たに地域医療の向上に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



総合診療科

医員 橋本 優



皮膚科

医員 池村 溪伺



腎臓内科

助教 大串 勇気



高齢医学科

助教 東川 俊寛



初期臨床研修医

東條 沙莉



内科

医員 三軒 龍昌



呼吸器内科

医員 山田 真也



胸部心臓血管外科

医員 高木 晶

看護部 15名

看護師14名／看護補助員1名



後列左から 永井有子・林栄輔・中嶋将太・谷口見東・尾有泉・山田みどり・松田美穂・茨木香奈子  
前列左から 松本美紀・米山彩・前田琴乃・田邊希江・村井千尋・堀内真実 (青木慧太郎)

医療技術員・事務職員 13名

理学療法士8名／作業療法士1名／臨床検査技師2名／事務職員2名



後列左から 宮垣光克・小林拓矢・中西啓祐・野田歩・佐伯卓哉  
前列左から 大崎翔子・澤田美沙子・松本知恵・前田美波・延澤彩乃・前腫 (西岡さおり) (宮本朝彦)

浦島先生の  
診察室から

消化器内科・准教授

浦島 左千夫

SACHIO  
URASHIMA



「沈黙の臓器」からの声です。近「沈黙の臓器」からの声です。こしずつ聞こえてくるようになってきた気がします。検査が普及し、採血や画像診断が向上し、彼らの声が診察室にも届き始めたのかもしれない。しかし未だその声は大きくなく、耐え難きを耐える静かな臓器たちです。

日本はB型肝炎は約110〜150万人、C型肝炎は約190〜230万人と言われ、自身が肝炎患者である事を知らない方はB型肝炎が約90万人、C型肝炎者は約80万人とも言われ、さらに肝炎の数は約80万人とも言われ、さらに肝炎の状況に鑑み当院では氷見地区の肝炎ウイルス関連疾患基幹施設として、慢性肝炎から肝硬変、肝癌への進展を防ぐべく、検査を含めた診療努力を行っております。最近新聞・テレビでメタボ、脂肪肝をよく耳にしますが、この脂肪肝は進行すると肝硬変・肝癌になることがわかってきました。しかしこの病態に世間はあまり関心がないように思えますが、気のせいでしょうか。深刻状態になる前に肝臓の声を聞いてみましょう。

臓器が臓器です。消化酵素を含む胆汁とともに、インスリン産生など糖尿病の発症に関係する臓器ですが、体の奥深い場所にある病勢に気づいた症例は少なく、しばしば診断にも難渋します。胆嚢や胆管は、肝臓で生成された胆汁の貯蔵と分泌に関与し、黄疸や胆石・胆嚢炎に關係する臓器です。

日本はB型肝炎は約110〜150万人、C型肝炎は約190〜230万人と言われ、自身が肝炎患者である事を知らない方はB型肝炎が約90万人、C型肝炎者は約80万人とも言われ、さらに肝炎の状況に鑑み当院では氷見地区の肝炎ウイルス関連疾患基幹施設として、慢性肝炎から肝硬変、肝癌への進展を防ぐべく、検査を含めた診療努力を行っております。最近新聞・テレビでメタボ、脂肪肝をよく耳にしますが、この脂肪肝は進行すると肝硬変・肝癌になることがわかってきました。しかしこの病態に世間はあまり関心がないように思えますが、気のせいでしょうか。深刻状態になる前に肝臓の声を聞いてみましょう。

胆疾患や胆道系疾患も当院では最新の各種画像診断法と診療技術を駆使して、正確な診断と適切な治療を行っており、胆石・胆嚢炎や急性・慢性胆炎など良性疾患から胆管癌や膵癌に至るまで、各種の多彩な膵・胆道系疾患を診療しており、経過の長い疾患

や定期治療を要する方には、地域の医療施設とも密接に連携をとることを心がけております。

最後に小生は氷見に赴任して3年になりますが、膵疾患の多さに驚き、また肝炎の受診率が少ない印象を受けております。胃や腸の定期検診力メラも大事ですが、様々な検診事業を利用し採血等を行い「沈黙の臓器」に耳を傾けてはいかがでしょうか。

浦島 左千夫 ★ 略歴

【経歴】

- ◎1984年3月 金沢医科大学医学部卒
- ◎2011年7月 氷見市民病院消化器内科准教授・診療科長

【所属学会】

- ◎日本消化器病学会専門医・指導医
- ◎日本肝臓学会専門医・指導医
- ◎日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ◎日本精神・神経学会 精神科専門医・指導医



# 金沢医科大学氷見市民病院

## 平成26年度

# 健康づくり教室



「健康づくり教室」を  
開催します

開催要領

平成26年度 開催日

開催時間は

14時～15時30分の予定です。

期間

平成26年5月～11月

(毎月1回原則第3土曜日)

時間

14時～15時30分

場所

金沢医科大学氷見市民病院

6階多目的ホール

受講生募集

随時、参加できます



当院では、一般市民の皆さんを対象に、「さまざまな病気」について、診断とその治療や予防法など、当病  
院の専門医師や医療スタッフが、解  
りやすく解説し、「皆様の健康回復・  
増進」に役立てていただくことを目  
的として、「健康づくり教室」を開催  
いたします。医療に関する知識や病  
気について医師とお話する機会と  
して、お気軽にご参加ください。

平成26年5月24日(土)

— 開講式 —

病院長 齋藤人志

血糖、高くても大丈夫?

(糖尿病について)

内分泌・代謝科准教授 伊藤智彦

6月21日(土)

● 脳梗塞にならないために

(脳の病気とリハビリについて)

脳神経外科教授 高田 久

7月19日(土)

● 肺の病気を知ろう

(肺と呼吸器の病気について)

呼吸器内科准教授 井口晶晴

9月20日(土)

● のどに異常を感じたら

(咽頭・喉頭がんの早期発見について)

耳鼻いんこう科准教授 松野栄雄

10月18日(土)

● あなたの心臓大丈夫ですか

(迫りくる心臓発作の予防と治療)

循環器内科教授 福田昭宏

11月15日(土)

● 意外と知らない胆石症のはなし

(胆石の最新治療について)

— 修了式 —  
病院長 齋藤人志

### ○お問い合わせ先

金沢医科大学氷見市民病院  
総務課  
〒935-8531  
氷見市鞍川1130番地  
TEL: 0766-74-1900  
(内線: 2022)  
FAX: 0766-74-1901

# 診療コラム

## 耳鼻いんこう科

准教授 松野栄雄

新病院での耳鼻咽喉科がスタートしてから3年が経過しました。耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療科長として松野栄雄准教授が赴任し、大浦一子講師と2人体制で診療にあたっています。現在その他2名の非常勤医師と合わせ4名の医師で診療にあたっています。

耳鼻咽喉科では鼻から咽喉頭に至る気道を扱います。上気道は外からの細菌や抗原物質の侵入のため、しっかり治療する必要があります。また、いびきや閉塞性睡眠時無呼吸症候群などの呼吸障害は運転中に睡眠するなど、事故の原因になります。



当科では、

最新の電子内視鏡の導入により高画質な画像が得られ、鼻内、鼻咽腔、咽喉頭の癌の早期発見、早期治療に役だっています。



医学の発達とともに、低侵襲で効果的な治療が可能になってきています。病気が進行する前に必要最低限の手術を行い、服薬指導を受けながら、早期社会復帰をする治療が可能になってきています。当科では、個々の病状に合った治療方法を説明し、インフォームドコンセントすなわち、理解した上で、患者さんやご家族の希望に沿った治療を行っています。耳鼻咽喉科の医師、外来看護師、検査技師、言語聴覚士は、氷見耳鼻咽喉科疾患研究会に所属し、各疾患について、定期的に症例検討を行っています。なにかわからないことがあれば、お気軽にご相談ください。

### ◎ 主な対象疾患、症状、治療

#### I. 鼻副鼻腔疾患

##### ①アレルギー性鼻炎

薬物療法等の保存的治療から外科的治療（レーザー治療）など個々の病状に適した治療法を選択します。

##### ②感染性鼻副鼻腔炎

短期入院による鼻内視鏡手術などの外科的治療を行っています。個々の病状や患者さんの希望により、一定の期間、薬物療法などの保存的治療を行ってから手術を行うこともあります。

#### II. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群、いびきの手術治療

#### III. 慢性扁桃炎、病巣性扁桃炎

扁桃の慢性炎症は病巣感染を介して種々の健康障害や病巣感染による多臓器疾患、皮膚疾患（掌蹠膿疱症等）、腎臓疾患（IgA腎症）が発生します。全身麻酔下にレーザー等の各種手術支援機器を用い、安全な態勢で手術を行っています。

#### IV. 声帯ポリープ、声がれなどの咽喉頭疾患

#### V. 甲状腺疾患、頸部疾患、唾液腺疾患の保存的、外科的治療

#### VI. 慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎に対する保存的、外科的治療

#### 専門外来

##### ①免疫・アレルギー外来

舌下免疫療法相談

（月曜日～土曜日、外来医担当）

専門医：松野医師

##### ②睡眠時無呼吸症候群、いびき外来

（毎週水曜日の午後 大浦医師担当）

##### ③補聴器外来

（毎週月曜日の午後 松野医師担当）

（毎週水曜日の午後 大浦医師担当）

聴覚・平衡機能検査、補聴器適合検査は、各医師とともに高田技師（臨床検査）が担当（月曜日～金曜日）し、特に正確な検査結果が求められる幼児聴力検査や身体障害者（聴覚障害）認定のための聴覚検査を行っています。



### 看護のロイイベント開催

毎年5月12日は「看護の日」。そして12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、1990年に制定されました。当院においても5月10日(土)、看護の日を前に、一般の方を対象にエントランスホールにて、「看護の心をみんなの心に」をテーマにイベントを開催しました。看護師や管理栄養士が来院者の血圧測定や健康相談、正しい手洗いの実施などを行いました。中でもグリッターバッグで手洗いの洗い残しのチェックを体験した親子連れは「日頃からちゃんと洗っているつもりでも、こんなに洗い残しがあったびっくりした。これから家でもしっかりと手洗いをしたい」との感想が聞かれました。今後このような機会を設け、市民の皆さんに日頃から健康づくりや病気について関心を高めてもらいたいと思います。



### 「忘れられない看護エピソード」優秀賞受賞

富山県看護協会と富山県の看護フェスティバルが5月11日富山市のCビルで開催され、その中で富山県内の看護職員と看護学生を対象に「看護職員からの体験談忘れられない看護エピソード」の表彰式が行われました。当院から応募した看護部三浦伊代さんが優秀賞を受賞しました。



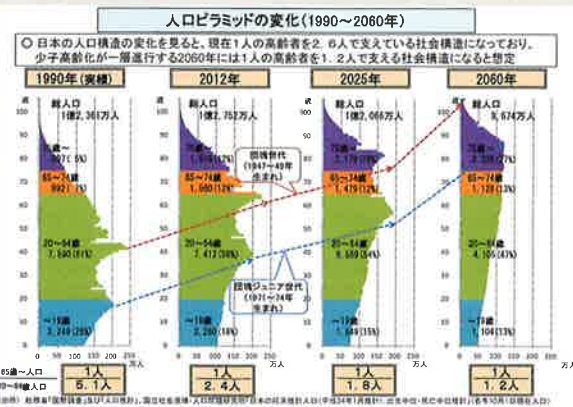
### 医療費の負担と消費税増税について

4月1日から消費税率が5%から8%に引き上げられました。消費税率以外にも、国民年金など社会保険料の引き上げ、年金の減額などの生活の負担となるような制度の見直しがあります。医療費も、診療報酬(保険診療の際に医療行為等の対価として計算される報酬)改定により、初診料、再診料などが引き上げられました。また4月2日以降に、新たに70歳になっ

た人から窓口負担が1割から2割の負担に増えました。この診療報酬は2年ごとに改定されます。普段、病院などに受診しなければあまり関心のないことがかもしれません。しかし、ここには国が考える、今後の日本の医療制度の方向性が示されています。



「社会保障と税の一体改革」ということを耳にされた方も多いと思います。なぜ、今改革が必要なのでしょう。そこには、日本の抱える少子高齢化、人口減少という問題があります。「人口ピラミッド」の図でもおわかりのように、今後の日本の人口構造は「ピラミッド」型から「こま」型になることは確実といえます。高齢化とともに、社会保障費は年々増加しています。それに見合うだけの税収はありません。財源は借金に頼っているのが現状です。このままですと、過重な借金を次世代に負わすことになり、安心の支え合いである社会保障制度を守り、進化させ、受け継いでいくため、時代の要請に合ったものに変えることが必要(厚生労働省HP)なのです。



しかし何より健康で長生きが一番です。「平均寿命」と似ていますが、いま「健康寿命」という言葉が注目されています。これは「一生のうち、日常生活に制限のない期間」、「自分が健康であると自覚している期間」のことです。2010年の健康寿命の平均は男性が70歳、女性が73歳でした。健康な期間が長ければ、医療や介護は必要ありません。家族等の負担も不要です。男女差、地域格差はありますが、いくつになっても健康で自立した生活を送りたいものです。そのためには健康な生活習慣を身につけ、「生涯元気」を目指しましょう。

## 氷見市新庁舎が 開庁しました。

5月7日(水)から氷見市の庁舎が病院近くに移転しました。最初の試みで旧有機高校の体育館を市庁舎として再利用しました。防災面・サービスマンに優れた建物に変わり、市民の方には利用しやすいように玄関正面前に駐車場を広く取っております。窓口業務はワンストップサービスになっており、手続きが行いやすくなっています。これから当院とより一層の連携が図れることで市民サービスの向上につなげたいと思います。



## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意志で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にして頂くため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。

## 編集後記

4月17日(木)「まるまげ祭り」が行われ、当院からも看護師4名が参加しました。艶やかな着物を身に付け中心商店街を3キロ練り歩き、その後、千手寺の観音様に「幸せな結婚と家族の健康」をお祈りしました。この祭りに参加した女性は、年内に結婚が決まることが多いそうです。きっと観音様への願いが叶い、公私共に幸せな出来事がおとずれることでしょう。

金沢医科大学氷見市民病院 総務課 かけはし春号編集委員  
雨池ゆかり



## エコロジーガーデン

ecology garden

## ソングオブジャマイカ

(リュウゼツラン科 ドラセナ属)

みなさんおなじみの「幸福の木」の仲間、幸福の木の葉を小さく細くした(約10~15cm位)ような葉をしています。幸福の木の葉に比べやや光沢具合が強く、ストライプ具合がやや異なり、グリーンの色も濃く色あいがきれいです。

名前を直訳すると「ジャマイカの歌」とはなんと格好良いですね!



### スポンサー企業

- (有)アカシア商会 ● サカキ産業株式会社 ● 株式会社ダスキンヘルスケア北陸
- たんぽぽ薬局 氷見店 ● 株式会社つばめ交通タクシー ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社 ● 株式会社日本空調北陸 ● 株式会社ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 ● 北陸総合警備保障株式会社 ● 高岡支社 ● 株式会社山下設計 ● 米沢電気工事株式会社 ● 菱機工業株式会社 ● 株式会社ワールドシンコー

### ■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。